

東部地域の小学校(第四小学校)の再編成の状況をお知らせします



校舎の横に見える鉄塔は国土交通省東京航空交通部の鉄塔
(写真は今年の11月中旬に撮影)

市教育委員会では東部地域の小学校再編成を進めるため、平成22年4月に策定した「東部地域の小学校再編成(第四小学校の閉校)に向けた実施計画(以下「実施計画」という)」に基づき事務を進めています。今号では、実施計画に基づく事務の進捗状況についてお知らせします。詳しくは学校適正化等担当 ☎470・7785へ。

〈これまでの経過〉

東久留米市における学校再編成の取り組みは、少子社会の到来とともに児童・生徒数の減少に伴う学校の小規模化が、教育効果や学校運営等に影響を与えるようになってきたことによるものです。これまでも平成16年3月末をもって滝山小学校が、22年3月末をもって、第八小学校がそれぞれ閉校しています。

東部地域については24年3月末までに、上の原に所在するUR(都市再生機構)の一部および国家公務員住

宅の移転が明確になったため、第四小学校の保護者の方々などの協議を重ね、実施計画を策定するに至りました(実施計画については教育委員会だより平成22年7月1日号の「東部地域の小学校再編成(第四小学校の閉校)に向けた実施計画」まとまる」の特集号でも概要を紹介しています)。



榎本委員長

うのはながさね

東久留米市教育委員会委員長 榎本 隆司

おめでとうございます。全市民の皆様のお幸せをひたすら念じます。

「文化国家」や「民主教育」を高く掲げて65年を経た今日、尖閣諸島・北方領土そして北朝鮮の動きなどを前にして、私たちはあらためて、平和の下での教育を守ることに

思いをひそめざるを得ません。すべての子どもたち、児童・生徒の明るい笑顔と、水と緑に恵まれた東久留米全市民の平安を確保するために、国の文教政策、その根幹をなす政治の在り方に、真剣な関心を持つことが求められます。特に、子どもたちをまもり、その将来に責任を持つ立場の私たちは、まず、自らを厳しく鍛え、その任に応え得る力を貯える必要があります。生きたことばで子どもたちと対話し、確かな眼で時世を見定めていくことです。

各学校が素晴らしい取り組みを続けています。挨拶に始まる美しいことばの教育に大きな期待が寄せられます。ことばが養う豊かな感性が、安全な教育の場と立派な人間づくりを保障するからです。声を出しての挨拶で心が開かれ、開かれた心で向き合えばはじめて先生方やより多くの仲間たちとのコミュニケーションを深めることができます。正しくきれいなことばづかいを身につけることによって、さらに美しく楽しい日々が求められるはずで

す。卯の年に因(ちな)んでは、「卯花襲」(うのはながさね)の美しさを楽しむ、心豊かなこの1年が思い合われます。重ねて、新しい年のご清福を祈ります。



永田教育長

新しい時代を切り拓(ひら)く生涯学習

東久留米市教育委員会教育長 永田 昇

新春を迎え、市民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。近年、社会はIT化やグローバル化の進展などにより急激に変化してきており、その変化に対応していける人材が望まれています。特に、天然資源に恵まれないわが国においては、人材こそが資源であることが再認識されており、人材育成は急務であります。また、現代社会の急激な変化の中で、幅広い年齢の人々に学びへの意欲が高まっています。

市教育委員会はこのような状況を踏まえ、市民の皆様がいつでも、自由に学習の機会を選択できるよう、以下のような施策の実施が必要だと考えています。その一つは学習活動の拠点となる生涯学習施設の充実と、生涯学習施設間のネットワーク形成の推進です。昨年の4月から中央公民館を生涯学習センターに名称変更し、市民の皆様がより利用しやすいよう見直しを実施した結果、利用者アンケートにおいても高い評価を得ています。今後はこの生涯学習センターを中心に他の施設との連携を強め、学ぶのにより一層適した施設へと充実させていきたいと考えています。

二つ目は「人生80年」時代に呼応した、生涯にわたり活動できる環境づくりです。地域で市民一人ひとりが心豊かな生活をし、学んできたことや学んでいることが地域の課題解決のヒントになり、地域がますます活性化する「地域の人材」が「地域の人材」を育てていく—そのような「生涯学習」の環境整備を目指していきたいと思

教育委員会委員長が再任されました

榎本隆司教育委員会委員長、平成22年9月16日に開催した第9回教育委員会定例会において委員長および委員長職務代理者の選挙を行ったところ、榎本隆司教育委員会委員長に再任されました(任期は平成22年10月12日〜23年10月11日)。また、井上敏博教育委員会委員長第一職務代理者に、矢部晶代教育委員会委員長第二職務代理者にそれぞれ再任されました。

教育相談室のご利用を

いじめや勉強、友だち付き合いなど、学校生活で悩んでいることがあれば、一人で悩んでいないで、市教育委員会の「教育相談室」をご利用ください。相談方法は、面接と電話です。

- ◎中央相談室(教育センター内)
☎473・3667
- ◎滝山相談室(西中学校隣)
☎475・8909

〈第四小学校の閉校条例が可決〉

実施計画に基づく事務を円滑に進めるため、第四小学校・第六小学校および神宝小学校の校長・保護者・区内自治会・青少年問題協議会・学校評議員等で組織する「統合準備会」を設置しています。「統合準備会」ではより良い教育環境づくりのための学校再編成に向けて、さまざまな課題解決のための協議を行っています。昨年6月に第一回目の会議を開催し、これまでに3回の会議を開催し

ています。そのような取り組みを踏まえ、昨年9月の第3回市議会定例会に「第四小学校の閉校に関する条例」を提出し、議会で可決されました。これにより第四小学校は、平成24年3月末をもって閉校することが決まりました。今後とも引き続き、統合準備会を中心に第四小学校の保護者や第四小学校・第六小学校・神宝小学校の各校長や関係する方々との協議を重ね、さまざまな課題を解決していきます。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

第二小学校が開校50周年!

～学校の教育目標は「考える子」「仲よくする子」「じょうぶな子」

市立第二小学校は昭和35年4月1日に、「東京都北多摩郡久留米町立久留米第二小学校」として開校しました。以来、「明るく、楽しく、元気のある学校」をモットーに、現在、653名(22年4月1日現在)の児童が学んでいます。同校は東久留米駅から徒歩数分の位置にありながらも自然に恵まれています。児童数も年々増加しており、6,382名の卒業生を送り出しています。50周年記念式典は昨年の12月9日、同校で行われました。6年生の歌や演奏、呼びかけは50周年を祝うにふさわしいものでした。続いて、市民プラザに会場を移して、「祝う会」が開催されました。第二小学校50周年の歩みのスライド上映、第12代校長と第13代校長が語る思い出話、同校教職員による歌と演奏、最後は全員で合唱し、感動的な雰囲気になりました。

